

令和元年度第1回帯広市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和元年6月13日（木）午前9時30分～午前10時30分

場 所：帯広市役所10階第6会議室

出 欠：出席 17名、欠席 1名 事務局 3名

1. 開会

(烏本事務局次長)

ただ今から、「令和元年度第1回帯広市地域公共交通活性化協議会」を開催します。

本日、都合により会長の相澤が欠席しておりますことから、商工観光部企画調整監の吉田が代理出席させていただき、会長代行を務めさせていただきます。

はじめに、開会にあたり、吉田よりご挨拶致します。

(吉田会長代行)

商工観光部の吉田でございます。本日は、お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本市の交通行政にご協力いただき、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、平成29年3月に策定いたしました帯広市地域公共交通網形成計画に基づき、これまで、公共交通利用者の利便性向上や、利用促進に資する様々な取組みについて、バス事業者様をはじめとする関係機関の皆様とともに実施してまいりました。

昨年度におきましては、帯広駅前バス待合所「バスターミナルおびくる」の供用開始や、郵便局株式会社様との連携による郵便局内へのバス待合スペースの設置など、路線バスの利用環境の改善が着実に進められてきていると感じております。

本市としましては、形成計画に基づき、路線の見直しをはじめとする各施策をすすめ、市民や来街者にとって、利用しやすい持続可能な公共交通を目指してまいりたいと考えております。

取り組みの実施にあたりましては、委員の皆様を始め、関係者の皆様と十分に協議・調整をさせていただきながら、進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

本日は昨年度実施いたしました取り組みを振り返り、今年度の取り組みについて協議させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(烏本事務局次長)

本日の出席でございますが、委員19名中17名のご出席をいただいております。規約第6条第2項による過半数の出席がありますことから、本日の会議が成立しておりますことをご報告致します。

続きまして、昨年度の会議以降、新しく5名の方に、協議会の委員として参加いただいておりますので、この場でご紹介させていただきます。

はじめに、十勝総合振興局 地域創生部 地域政策課 課長の 千葉様です。

帯広開発建設部 道路計画課 課長の谷津様ですが、本日は代理で川村上席道路計画専門官にご出席いただいております。

帯広市 政策推進部 企画課 西尾課長です。

帯広市 市民環境部 環境都市推進課 小林課長です。

帯広市 保健福祉部 高齢者福祉課 松本課長です。

(鳥本事務局次長)

それでは、今後の議事進行につきましては、会長代行の吉田が行います。

2. 議事

(吉田会長代行)

それでは早速、議事に入ります。報告事項「(1)平成30年度事業報告」、「(2)平成30年度決算報告」について、事務局より説明いたします。

(事務局)

《資料2》平成30年度事業報告、《資料3》平成30年度収支決算書の説明》

(吉田会長代行)

続きまして、報告事項「(3)平成30年度監査報告」について、監査委員の千葉様から報告をお願い申し上げます。なお、会計監査につきましては、前監査委員の十勝総合振興局 前地域政策課長の小林様に実施いただいております。

(十勝総合振興局 千葉課長)

《資料4》平成30年度会計監査報告》

(吉田会長代行)

ありがとうございました。ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等はございますか。

《意見無し》

続いて、報告事項(4)平成30年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る事業実施状況について、事務局より説明いたします。

(事務局)

帯広市地域公共交通網形成計画に基づく施策の平成30年度の実施状況について、ご説明いたします。資料5をご覧ください。

計画では4つの基本方針を掲げており、それにもとづく施策の実施状況について、主な取組みを説明いたします。

まず、基本方針(1)「公共交通のサービスレベルの向上のための施策」といたしまして、バス路線及びダイヤの見直しをはじめとする4項目の取組みを実施しております。

「市内バス路線及びダイヤの見直し」については、資料記載の路線の見直しを実施しており、主に、昨年11月の帯広厚生病院移転に伴う見直しとなっております。

十勝バス様では、病院の移転に合わせ、白樺通沿線を運行する各路線、及び西地区コミュニティバスについて、病院敷地内に乗り入れる運行経路の変更を実施し、病院利用客の利便向上を図りました。

また、大正地区あいのりタクシー、川西地区あいのりバスでは、旧厚生病院前から新厚生病院までの運行経路の延伸を実施しております。

次に、バス待合環境の改善に向けた取組みについては、帯広市と帯広市内郵便局との協働のまちづくりに関する包括的連携協定の取組みの一環として、帯広郵便局及び西帯広郵便局内にバス待合スペースを設置したほか、バス事業者と広告会社との連携により、帯広駅バスターミナルへのベンチ設置、及び市内バス停2箇所への上屋の設置を実施しております。

IC カードシステム導入に向けた実証試験等の検討については、十勝バス様において、商業系電子マネー「WAON カード」を利用した運賃決済システムの実証試験を市内3路線で実施しております。また、拓殖バス様においてもキャッシュレス決済システムとしてQRコード決済システムの導入に向けた調査・検討を行っているところです。

続きまして、基本方針（2）「生活と交通の拠点の整備」に関する施策として、記載の2項目の取組みを実施しております。

デマンド型交通の利便性向上については、あいのりタクシー・あいのりバスに関して、帯広厚生病院移転に合わせた運行経路の延伸を実施しております。

次に、基本方針（3）「市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施」として、記載の6項目の取組みを実施しております。

バスロケーションシステム等の普及として、バス事業者において「標準的なバス情報フォーマット」による路線バス情報のデータを作成し、オープンデータとして事業者ホームページ上で公開したほか、グーグルマップ上から十勝管内全域のバス路線が検索できるようになりました。

また、事業報告にもございましたが、「おびひろバスマップ」のデザインや内容を大きく見直し、十勝管内在住のイラストレーター「チームヤムヤム」様によるイラスト・デザインによるバスマップを新たに作成いたしました。本バスマップは、広報おびひろとの同時配布やバスターミナルおびくるや市内コミセンなどでの配布を実施しており、市民の皆様からもご好評をいただいているところです。

このほか、外国人観光客向けの案内整備として、十勝バス、拓殖バス両社において、多言語対応のバス停整備や外国語案内放送を継続して実施しているほか、十勝管内のバスが乗り放題となる「VISIT TOKACHI PASS」販売や、全道各地の都市間バス・路線バスが利用できる「Hokkaido Budget Bus Pass」への参画により、インバウンド観光客の路線バス利用促進に取り組みました。

次に、基本方針（4）「利用促進施策の推進」については、これまで実施してまいりました、小学生や高齢者への出前講座を引き続き実施したほか、中高生向け・市内転入者向けの小冊子を作成、配布しております。

なお、これらの小冊子は、一層のバス利用促進を目的として、「おびひろバスマップ」と併せて配布しているところでございます。

続きまして、資料6をご覧ください。計画の評価指標の現時点での達成状況について、でございます。

各基本方針に対応する7指標のうち、「(1) 路線バス利用者数」、「(2) 通学定期券年間販売数」、「(4) バスパック年間利用者数」、「(6) 高齢者おでかけサポートバス年間利用者数」の各指標について、実績値が目標値を上回り、順調に推移しております。

(3) あいのりタクシー及びあいのりバスの年間利用者数については、目標値16,510人に対し、実績値15,782人となっております。

これは、高齢者の常連利用客の利用が無くなったことや川西中学校の下校時利用件数が減少したことが主な要因となっております。

(7) ノーカーデー参加者数については、目標値6,240人に対し実績値5,647人と目標未達成となっております。これは、北海道胆振東部地震により平成30年9月のノーカーデーが中止となったこと主な要因となっております。

なお、(5) バスロケーションシステムの外国語表示閲覧数については、システム開発元において外国語版利用件数を把握することが不可能となったことから、平成30年度以

降、本指標による評価を取りやめることといたします。

訪日外国人の路線バス利用者数に関する参考数値として、平成 29 年 11 月より販売開始された VISIT TOKACHI PASS の外国人向け販売件数を記載しております。

以上、一部目標未達成の指標がございますが、バス利用者に関する指標はおおむね順調に推移していることから、引き続き、これまで実施してきた取組みについて、改善を図りながら着実に進めてまいります。

次に、資料 7 につきましては、計画に係る事業スケジュールと進捗状況の一覧表となっております。資料中、網掛けとなっている項目については、事業が完了したもの、及び、これまで実施している取組みについて、改善を図りながら継続実施していくものとなっております。

これまで、「バスターミナルおびくる」の整備や「おびひろバスマップ」の作成について完了しており、今後に向けては、IC カードなどキャッシュレス決済の導入や、乗り継ぎ拠点設置に向けた検討を進めてまいります。

平成 30 年度の事業実施状況について、説明は以上でございます。

(吉田会長代行)

ただいまの説明につきまして、バス事業者様から補足説明などございましたらお願いいたします。

(十勝バス 若森課長)

路線バスの利用者数が伸びているのは高齢者の無料乗車証の利用が増えている実態があります。103～105%程度の伸び率がここ数年続いています。学生数が減少傾向にあると聞きますが、定期券等の収入については年によって増減があります。

WAON カード決済については、西地区コミュニティバスから始まり、自衛隊稲田線、畜大線において実証試験を実施しています。バスの利用者の多くが学生と高齢者であり、学生は定期券の利用が多く、70 歳以上の方は高齢者無料乗車証を使うため WAON カードを持っていても使う機会が少ない状況です。WAON カード利用者の人数をカウントしていますが、西地区コミュニティバスについては 1 日 3 人程度、自衛隊稲田線については 1 日 1 人か 2 人という利用実態です。ただし、この数字だけではお客様の意向が掴めないもので、今年の秋には比較的お客様が多い大空線でも検証したいと考えています。

(吉田会長代行)

ありがとうございます。

拓殖バス様はキャッシュレス決済の導入を検討されていると聞いておりますが、いかがでしょうか。

(拓殖バス 小森部長)

まず、ダイヤの見直しに関しまして、帯広厚生病院の移転に伴い改正をしておりますが、その影響により市内便の輸送量が減少したものと捉えています。

キャッシュレス決済については、現在 QR コードによる決済を検討しているところです。10 月から消費税が改正される予定であり、キャッシュレス決済を導入することにより 5% の還元が受けられるなどの政策があるようなので、利用促進につながることも期待されるため導入を検討しています。導入にあたっては相当の費用がかかってくるため補助制度等も含め検討しているところであり、まだ公表できる段階にはありません。

また、今年は NHK のドラマ「なつぞら」が放送されているため、観光客を取り込むことが大事であると考えています。人口減少により一般の利用客が減少傾向にある中で、観光客による収入増加が大事であると考えていますが、外国人向け・日本人向けの「VISIT TOKACHI PASS」は好評を得ていると考えており、観光関係の事業者とともに増収策を検

討していきたいと思えます。

(吉田会長代行)

ありがとうございます。

ただいまの補足説明等含めて皆様からご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

《意見・質問なし》

それでは、特になければ、報告事項については以上と致します。

次に、協議事項に入ります。(1) 令和元年度の本協議会事業の事業計画案 及び(2) 令和元年度収支予算案について、事務局より説明いたします。

(事務局)

それでは、令和元年度事業計画(案)について説明させていただきます。資料8をご覧ください。

令和元年度、本協議会の予算を伴う事業は、「モビリティ・マネジメント施策の展開」として、「モビリティ・マネジメント用小冊子の作成」を実施いたします。

昨年度に引き続き、中高生及び転入者向けのバス利用促進ツールである小冊子を作成・配布するほか、今年度は新たに、高齢者を対象とした小冊子を作成・配布いたします。

なお、本小冊子については、事務局において原案を作成いたしました後、内容について委員の皆様にご意見等をいただきたいと思いますと考えております。

令和元年度事業計画(案)については、以上でございます。

続きまして、令和元年度収支予算書(案)についてご説明いたします。資料9をご覧ください。

《資料10のとおり説明》

以上、事業計画、収支予算書につきまして、ご承認をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(吉田会長代行)

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はございますか。

《意見・質問なし》

ご意見等ないようですので、令和元年度事業計画及び収支予算について、本案のとおりとさせていただきます。

次に、(3) 帯広市地域公共交通網形成計画に基づく令和元年度の施策実施案について、事務局より説明致します。

(事務局)

それでは、形成計画に基づく事業の令和元年度実施内容(案)について、説明させていただきます。資料10をご覧ください。

基本方針(1)「公共交通のサービスレベルの向上」について、資料記載の路線に係る路線・ダイヤ見直しなど、4項目の施策の取組みを進めます。

市内バス路線及びダイヤの見直しについて、資料1 ページ目上段の表の路線については、本年度、既に実施済みのものとなっており、記載の路線について、バス利用客の利便性向上や、運行収支改善のための見直しを実施しました。

下段の表の路線は、今後見直しを実施予定、または実施について検討する路線となっております。

十勝バス様においては、複数のバス路線が経由している MEGA ドン・キホーテ西帯広店様でのバス待合環境の改善を図るため、これまで西地区コミュニティバスのみ実施していた店舗敷地内乗り入れについて、新たに学園通線で試験的に実施します。また、西地区コミュニティバスの増便及びダイヤ見直しを検討します。これにより、学園通線の運行エリアである大空・稲田地区から厚生病院などへのバス乗り継ぎ利便の向上が期待されます。

また、水光線について、より効率的な運行方法について検討するため、帯広市と協議を行った上で乗合タクシー方式による運行の実証試験を実施予定です。

拓殖バス様においては、厚生病院の移転により、新病院を經由していないバス路線の沿線住民から、新病院を經由する形へのバス路線変更や、乗り継ぎ・待合利便の向上を求める要望が寄せられたことから、昨年度に引き続き、厚生病院を經由する便や病院敷地内への乗り入れについて検討・調整を実施するものです。

このほか、「定時性の確保に向けた取組み」、「バス待合環境の改善」、「IC カードシステム導入」について、昨年度に引き続き、資料記載のとおり取組みを進めます。

このうち、十勝バス様において実施している WAON カード決済の実証試験については、「西地区コミュニティバス」「自衛隊稲田線」「畜大線」に加え、本年度新たに「大空団地線」を加えた4路線で実施する予定となっております。

基本方針(2)「生活と交通の拠点整備」に係る施策につきましては、路線・ダイヤの見直しでも説明いたしましたとおり、西帯広地区の乗り継ぎ拠点の整備に向け、MEGA ドン・キホーテ西帯広店様との協議・調整を実施するほか、水光線に代わる運行方法として、東13条エリアにおける乗合タクシー導入についての検討及び実証試験を実施予定です。

基本方針(3)「市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供」に係る施策につきましては、引き続き「PINA」や「もくいく」の普及や利便性の向上に取り組むほか、ジョルダン、駅すばあとなど大手コンテンツプロバイダへのオープンデータ提供による路線検索に対応します。

また、時刻表の改善や、「バスターミナルおびくる」におけるデジタルサイネージ及びAI窓口における情報提供の強化、バス停留所や社内案内放送の多言語対応、企画乗車券の利用促進などについて、継続して取り組みます。

最後に、基本方針(4)「利用促進施策の推進」として、引き続き、小学生から高齢者まで、出前講座やモビリティ・マネジメントツールの配布を通じた利用促進に取り組めます。今年度については、事業計画案にて説明いたしましたとおり、中高生向け・転入者向けのほか、新たに高齢者向けのモビリティ・マネジメント用小冊子を作成する予定となっております。

令和元年度の施策の推進案について、事務局からは以上でございます。

(吉田会長代行)

ただ今の内容について、ご意見、ご質問等はございますか。

(交運労協 久保議長)

イオン帯広前のバス停のところに屋根が設置されましたが、バスをバスベースに停車

する際、屋根を支える柱とぶつかる可能性があり、バスを寄せることが難しい。そのため、バスを利用される方が一度車道に降りることになり不便な状況になっています。道路の構造に関する法令等の関係もあると思いますが、今後、バスベースや屋根の設置にあたっては十分な配慮をしていただきたい。

(吉田会長代行)

貴重なご意見ありがとうございます。今の時点で、バス事業者様においてコメントがあればお願いいたします。

(十勝バス 若森課長)

歩道の幅をどのように確保できるかという点がありますが、今後設置していく際には道路管理者としっかり協議していきたいと思っております。

(吉田会長代行)

ありがとうございました。今お話しがあったとおり、法令上の要件があると思っておりますが、今後設置される場合にはバス事業者様において適切に対応していただきたいと思っております。

そのほかご意見ありますか。

(市町内会連合会 齊藤副会長)

西16条北1丁目周辺の栄地区のバス利用者から「帯広厚生病院へ行く便が無くなったので何とかしてほしい」という要望が挙がっていると思っております。その地区の町内会長から「路線の見直しの際には市民の声を活かしてほしい」という要望がありました。今回の議題の中に、新年度の計画として「検討」という内容がありましたので、住民の声として提案をしておきたいと思っております。住民の声を活かさないような路線バスはありえないと考えています。検討をお願いするとともに、その地区から要望があった際には、理解が得られるように対応していただくよう要望します。

(吉田会長代行)

ご意見ありがとうございます。この件に関しましては、市に対しても要望されておりますので、その後の経過について事務局から説明させていただきます。

(鳥本事務局次長)

まず、栄連合町内会様から要望書をいただいております。それにつきましては速やかにバス事業者様に共有しております。この件以外にも市民の皆様の声として直接市に届いているもの、バス事業者様に届いているものもあります。それらにつきましては、随時バス事業者様において検討していただいて、対応できる内容については速やかに対応していただいているものと認識しております。帯広厚生病院を経由する便につきましては様々な課題もありますが、引き続きバス事業者様において検討いただけるものと考えております。

(吉田会長代行)

市における経過は以上となりますが、この件につきましては拓殖バス様からもお話を伺いたいと思っております。また、今年度共栄通の開通という環境の変化もありますので、あわせて今後の方向性や可能性について、現時点で可能な範囲で両バス事業者様からコメントをいただきたいと思っております。

(北海道拓殖バス 小森部長)

栄地区の運行をさせていただいており、旧帯広厚生病院を経由する路線がありますが、病院が移転したあとも従来どおりの路線となっています。お客様からの要望を受けて検

討したところですが、結果としては、経路や病院敷地に入る出入口の面等で課題があり昨年度は見直しを見合わせたところです。

この件につきましては検討をしておりますが、厚生病院へ迂回して運行することになると、現在の路線を利用されているお客様にも影響が生じることから、その点についても調査・検討しなければならないと考えています。

また、迂回することにより運行経費が増加する可能性もあり、この路線については市の補助対象路線になっていきますので収支の課題についても検討しなければなりません。現在、厚生病院を經由している十勝バス様の路線と競合することになりますので、理解を得ながら検討する必要があります。

複数の調整事項がありますことから時間を要しています。できることに越したことはありませんが、できない場合には乗り換え運賃等含めてお客様の利便性をどのように確保していけるのかを関係者の皆様と相談しながら考えていきます。

今後とも皆様からのご意見等をいただければと思います。

(吉田会長代行)

ありがとうございました。十勝バス様いかがでしょうか。

(十勝バス 若森課長)

昨年11月から競馬場通を運行する路線、西地区コミュニティバスについては厚生病院へ乗り入れています。それ以外の路線については乗り継ぎという負担が生じることから、利用者から問い合わせ等がありました。幸いバスターミナルに「おびくる」が完成し待合環境が向上したことや、できるだけ待たせないようにダイヤを組んで運行しています。当初は問い合わせが少しありましたが、現在は問題なく運行できています。

今後の取組みの中に交通結節点の設置を検討することが含まれていますが、結節点を設けることにより西地区だけではなく南地区からも厚生病院を含めた目的地へ向かう路線の利便性が向上しますので、検討をすすめていきたいと考えています。

(吉田会長代行)

ありがとうございました。以上が現時点での報告となります。

それでは、そのほかご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

(帯広運輸支局 笹治首席運輸企画専門官)

水光線について、具体的に検討がすすんでいるのであれば教えていただきたい。

(十勝バス 若森課長)

現時点ではお話できることはありません。これから検討していくこととなります。水光線の運行エリアは東の中でも比較的高齢者の割合が高いと考えています。バス停まで行くことが難しいという声もあることから、乗合タクシーによりバス停までお送りすることを実証実験から始めてみたいと考えています。

具体的なコース等はこれから検討していきますが、路線バスへ接続する乗合タクシーを研究していきたいと考えています。

(吉田会長代行)

ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。バス事業者様から今年度の施策について補足等あればお願いいたします。

(北海道拓殖バス 小森部長)

今年からの取組みとしまして、拓殖バス、十勝バスともにバス路線がグーグルマップで検索できるようになっています。これらのデータはホームページ上で誰もが使えるオープンデータとして提供しています。例えば観光事業者様がバスのルートや運賃等を自

由に利用していただくことができます。外国人等が交通手段を調べるためにはグーグルマップは非常に有効な手段でありますので、バスの利用促進につながることを期待しています。

(十勝バス 若森課長)

オープンデータにつきましては、趣味で活用している方もおられるようで、道外の方からお礼の電話をいただいたこともあります。

(吉田会長代行)

そのほか、ご意見、ご質問いかがでしょうか。

《意見・質問なし》

それでは、計画に基づく事業の実施につきましては、本案のとおり、また、ご意見を踏まえまして進めてまいります。

本日予定していた協議事項は以上となりますが、全体を通してご意見等ございましたら頂戴したいと思いますがいかがでしょうか。

(帯広運輸支局 笹治主席運輸企画専門官)

既に5月29日に公表されていますのでご承知の方もおられるかと思いますが、このたび帯広市に対しまして、交通関係環境保全優良事業者としまして、国土交通省北海道運輸局長表彰が授与されましたので、この場をお借りしまして皆様にご報告を申し上げます。

帯広市におかれましては、交通環境講座や環境問題教室等によって、交通関係や環境保全普及啓発事業を継続的に行うとともに、ノーマイカー通勤による環境負荷の少ない通勤を奨励していることなど、公共交通機関の利用を含めた環境に優しい通勤を推進するなどの取組みが継続して行われているところです。また、帯広市内の小学校や生涯学習講座等において、学生や高齢者を対象にした地球温暖化に関する教育プログラム「交通環境講座」「交通問題教室」を、学生においては平成19年度から、高齢者においては平成21年度から実施されています。また、十勝バス様、北海道拓殖バス様の協力のもとでバスの試乗を行っています。これについては延べ86回の実施、5,609名が受講しており、高齢世代やバス利用者となりうる世代に対して利用促進の取組みを行っています。今後も引き続き公共交通機関の利用促進のほか、交通分野における地球温暖化対策や低公害車の導入の促進を図っていただきますようお願いしたいと思います。以上、ご報告とさせていただきます。おめでとうございます。

(吉田会長代行)

ありがとうございます。今回の受賞は非常に光栄なことと受け止めております。何より、ここに至る取組みは事業者様、関係機関の皆様のご協力なしにはできなかったものと考えておりますので改めて感謝申し上げます。また、今後におきましても持続的に実施していけますようご協力をよろしくお願いいたします。

そのほか、この場は公共交通に関する日頃のご意見等、それぞれに寄せられているものを共有する重要な役割があると思いますが、皆様から何かございませんでしょうか。

《意見・質問なし》

3. 閉会

(吉田会長代行)

それでは、本日は以上をもちまして、令和元年度第1回帯広市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。ありがとうございました。